

事業所向け 児童発達支援評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			既存の建物なので、工夫して行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置も適切に努めている。看護師配置も行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差なし。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			半年に一度、目標設定・評価の実施
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者評価を真摯に受け止め、改善出来る所は、改善につなげるよう努めている。
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ等で公開している。その他、しろやま新聞やラインでも、お伝えしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価未実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修（社外、事業所内）も、参加できている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			カンファレンスを行い、課題や問題などの分析を多職種で行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			遠城寺式発達検査等、行っている。感覚プロフィールなど、発達検査もおこなっている。

⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			必要な項目は、支援内容に設定している。
⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画に沿って行っている。
⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士・リハスタッフ・看護師で意見交換を行っている。
⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定しないように、工夫をしている。
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			個別、集団での活動を取り入れて作成している。

⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の申し送りで伝達事項を行っている。休みのスタッフにも伝達できる様連絡ノートやライン等を活用
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			良かったこと、悪かったことなど、短時間でも振り返りを行っている。
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別、集団での活動は記録している。その都度、改善につなげている。
⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも半年に一度のモニタリング実施
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて、セラピストや看護師にも参加してもらっている。
	㉑ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			こどもが住んでいる地域の行政や教育など、会議を開いて関係機関との連携をとっている。

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②③	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			緊急時の場合、主治医などの連絡体制など保護者を交えて行っている。
	②④	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保育園やこども園等に出向いたり、特別支援学校教諭が来所してくれたり連携を取っている
	②⑤	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		
	②⑥	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時、受診同行等の実施
	②⑦	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	障害のないお子さんとのふれ合いの機会を特設していない
	②⑧	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			長崎市こども部会への参加
	②⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳・送迎時・電話・手紙等にて行い、ラインで写真や動画でお伝えしている。
	③⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			必要時や求めに応じて、実施等。 YouTube チャンネルや、しろやま新聞などでも家族向けの支援を実施している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑪	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、求められたら即、応じている。
	③⑫	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談を行い、支援方法など検討し同意を得ている。
	③⑬	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があれば、即助言や支援方法など、お伝えしている。

	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は特に設けていないが、クリスマス会などで、参観をしてもらいながら、関わりが持てるよう配慮した。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			その都度対応している。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			3ヶ月に一度しろやま新聞発行、適宜ホームページに利用状況などブログ配信をしている。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			十分注意している。
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			遠足などに出向き、保護者同士の関わりを提供。
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報等（利用していると知られたくないなど）の問題もあり、地域住民を積極的に招いていない
非常時等の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			ホームページに記載している旨をお伝えしている。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防訓練、不審者対応訓練、地震対策訓練など行っている。
	④⑫	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			健康観察（看護師作成）で、確認できている。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	アレルギーを持っている子どもには、健康観察（看護師作成）に保護者記入で行い、保護者に指示を受け、対応している。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職員会議などで、事例発表と、周知を含めて共有している。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の為、全スタッフの研修を行っている。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束の実施なし

